

上浦幌中央小学校 読書感想文の書き方教わる

浦幌新聞



2020年(令和2年)
9月25日(金曜日)
発行元
特定非営利活動法人
うらほろスタイルサポート



上浦幌中央小学校では8月4日(火)に、図書館司書の山崎さんを講師として読書感想文の書き方を教わりました。子どもたちは夏休み中に学校の図書室から本を借り、読んだ本の感想文を書くそうです。山崎さんの話を真剣に聞く姿が印象的でした。

1・2年生には、山崎さんによる絵本の読み聞かせが行われました。青少年読書感想文全国コンクールの課題図書や山崎さんが選んだ本のほか、あらすじやどんな人におすすめかなどが紹介されました。読み聞かせのあとは、紹介された本や興味のある本などを思い思いに手に取り、楽しそうにしていました。

3～6年生はワークシートをもとに読書感想文の書き方を教りました。「あらすじを書きすぎてしまうこと



どの本にしようかな

が多いので、自分が思ったことも書く』『すごい』は話し言葉なので『とても』や『素敵』などの言葉に変え、具体的にどうすごかったのかを書く』などの内容が話され、子どもたちはメモを取りながら聞いていました。書き方を教わった後は、青少年読書感想文全国コンクールの課題図書と山崎さんが選んだ本の、合わせて14冊の本の紹介がありました。それぞれの本についてのあらすじや、どんな人に読んでもらいたいかなどの紹介をしていただき、子



読み聞かせに夢中

どもたちはどの本を読もうか考えていました。その後、実際に夏休みに読む本を選び、どの本で感想文を書くか考える姿も見られました。

授業の最後に子どもたちからの挨拶があり、「教えてもらった本を夏休みに読みたいです」「読書感想文はいつもつまずくので、今日教えてもらったことを参考にしたいです」といった感想が述べられました。子どもたちが書いた読書感想文を読んでみたいくなりました。(地域おこし協力隊 見山夕莉)

大活躍 町内クリーン活動

8月20日(木)に、浦幌小学校の6年生と浦幌中学校の生徒とで、町内クリーン活動が行われました。当日は晴天で大変暑い中でした。

だが、子どもたちは元気いっぱいゴミ拾いに取り組んでいました。当日は感染症対策のほか、熱中症対策も取られたうえでの実施となりました。



子どもたちは帽子の着用とこまめな水分補給をしていました。ゴミ拾いは町内の市街地区を14のグループに分かれて行いました。1グループは6～10人で、分別するための複数の袋を持ち、火ばさみや軍手などを用いながら進めていました。

浦幌小学校に集合した子どもたちは、はじめに出発式を行いました。浦幌小学校の横山校長先生からの挨拶やゴミ拾いの説明のほか、中学生からの「今年のクリーン活動の標語は『ゴミ拾い きれいなまちに 花咲くよ』です。まちをきれいにできるよう頑張りましょう」と挨拶がありました。その後グループごとにゴミ拾いをするルート、分別の仕方などの説明がグループ長から示され、準備ができたグループから出発していきまし



雲一つない晴天でした



ゴミ拾いの作戦会議

歩いて巡りました。ほかの10グループは浦幌小学校から歩いて移動し、それぞれ活動していました。学年の隔たりなく、楽しそうに会話をしながら活動していました。また、まちの人に会ったときには元気に挨拶をする姿も見られました。ゴミを見つけたときには、「あつた!」と嬉しそうなお声が響きました。中には「なんでこんなところにゴミを捨てるんだろう!」「まだあつた!」などの声も聞こえてきました。浦幌小学校に戻ってきた



ごみを見つけたよ!

子どもたちは、分別作業を行いました。そのごみの量は多く、おかしなどの食品の包装や缶などが目立ちました。休憩を取ったあと、小学校のグラウンドのゴミ拾いもしていました。暮らしているまちがきれいになって、達成感を感じることができたのではないかと思います。きれいなまちを維持し、ゴミを捨てないように、また見つけたら拾える大人でありたいと思います。(地域おこし協力隊 見山夕莉)